

# 無言館& 松代大本営へ行こう!

日時：2005年6月25日(土)午後 発 ~ 26日(日)夕方 着

宿泊：鹿教湯(かけゆ)温泉 旅館ニューかどや

交通手段：観光バス(55人乗り)1台

参加費：2万2千円くらい



## 無言館ってどんなところ??

「無言館」には、60年前の太平洋戦争で亡くなった画学生の作品や遺品が集められています。当時、たくさんの画学生が、立派な絵描きになりたいという希望にもえながら、それをはたすことなく、戦争にゆき死んでいきました。

「無言館」には、そうした画学生たちが、戦争にゆく前に描いた絵や、戦地でそっと描いていたスケッチ、祖国の父母にであてた絵はがきなどがたくさんかざられています。

あの時代、「絵を描く喜び」を画学生たちから奪った戦争は現在もイラクをはじめ、世界でおこっています。

戦争に対する反省の上にたった憲法9条をかえ、日本を

「戦争できる国」にしようとする動きがある中、今こそ戦争や平和について 考えるときでは、ないでしょうか・・・

たとえば、鹿児島県の種子島で生まれ、東京美術学校を繰り上げ卒業して戦争にゆき、27歳で戦死した日高安典さんが描いた「裸婦」という絵。好きだった恋人の姿を描いた絵です。

日高さんは戦争にゆく寸前まで、この絵を描きつづけ、そして「自分は必ず生きて帰ってこの絵の続きを描くから。」と恋人に言い残して出征してゆきました。けれど、日高さんは遠い戦地のフィリピンで戦死し、この絵の続きを描くことはできませんでした・・・

## 今だからこそ、無言館へ!

無言館ツアー実行委員募集中!

楽しく取り組んでいきましょう!

次回の実行委員会は、28日(月)

午後6時から本部にて行います。

詳しくは、堀場(放射線科)、藤井(検査)、

西村(本部)、堀(本部)まで。

